

令和4年度

なはし創業・就職サポートセンター運営等業務委託

委託事業完了報告書

株式会社プラスキャリア

(令和4年4月～令和4年7月)

1. 事業概要

(1) 事業期間

令和4年4月1日～令和4年7月31日

(2) 開所時間

9:00～18:00

(3) 開所日

月曜日～金曜日

(4) 実施場所

・なはし創業・就職サポートセンター

[沖縄県那覇市銘苅 2-3-1 なは市民協働プラザ B コア 地下1階]

(5) 当社創業相談員

小松崎 愛、築本 圭司 (サブ: 田中 宏和、中村 成志、與世川 睦月)

(6) 実施業務

- ・創業、就職相談業務
- ・連携支援機関の案内及び紹介
- ・創業、就職支援セミナーの開催
- ・創業、就職に関する情報収集・提供
- ・その他創業、就職相談業務全般
- ・創業、就職後の支援

2. 創業相談

(1) 創業相談員

小松崎愛、築本圭司 (サブ: 田中 宏和、中村 成志、與世川 睦月)

(2) 利用者総数

総数: 224名 (男性: 133名 女性: 91名)

※資料添付: 詳細内訳

(3) 相談件数

相談件数：72件（男性：46名 女性：26名）

(4) 「特定創業支援事業」

- ・証明書発行人数：11名
- ・証明書発行件数：19件

(5) 後追い調査

後追い件数：19件

(6) 創業件数

件数：0件

(7) 創業相談総括

新型コロナウイルスの感染拡大で相談件数は月平均18件程度になった。年代別では、30代と40代の相談者が合計51名と全体の約7割以上を占めている。相談の業種はさまざまだが、飲食業の相談をはじめ、福祉関係や美容関係(エステ系含む)のサロン開業に関する相談などが多かった。

全体的に、新型コロナウイルスの影響等で企業倒産や物価高騰など、将来の生活などに不安を感じて創業を選択するケースや、自己資金の不足や計画不足で創業に至らないケースも生じた。

特に、新規相談では具体的な事業計画作成以前の段階にあるケースが多く見受けられることから、事業計画作成に向けて第三者に説明できるよう簡単にまとめるようアドバイスを行いながら、創業準備にある程度時間をかけてサポートをしていく必要性があると感じている。

また、コロナ関連の補助金や助成金が出ていることから、補助金・助成金に関する相談も増加した。しかし、相談者の多くは、補助金や助成金の要件を満たしていないものが多く、資金調達の方法や事業計画の変更等を検討する結果となった。

この他にも、副業が可能となった企業が多くなったことで、特に女性の相談者が自身の趣味や経験を活かして、個人事業で副業を行いたいとの相談もあった。既にネット販売等を行っているケースもあり、個人事業の説明や、確定申告、申請や届け出など開業に必要な手続きの案内を行った。

特定創業支援事業については、小規模事業者持続化補助金等の影響及び連携機関（那覇商工会議所）が実施する対象セミナーが終了したことで、申請に関する問合せ及び申請書発行件数も増加した。今後も他の連携機関（コザ信用金庫）の対象セミナー開催があり、申請件数は増加することが見込まれる。

3. 創業セミナー

(1) 開催回数

合計：2回

(2) 申込・参加者数

申込総数：10名（男性：7名 女性：3名）

内参加者総数：8名（男性：6名 女性：2名）

(3) 講師

- ・あらかきののぶ [SDGs×キャリア教育プロジェクト代表]
- ・高良 俊行 [一般社団法人那覇青色申告会 主任]

(4) セミナー詳細

【自主開催】

■SDGsを使って創業時の課題解決思考を養う

開催日時：令和4年5月25日（水）14：00～16：00

講座講師：あらかきののぶ [SDGs×キャリア教育プロジェクト代表]

▽内容

- ・講師自己紹介
- ・SDGsとは
- ・創業時に起こる課題とは
- ・個人ワーク・グループワーク
- ・質疑応答

■個人事業主向けの確定申告について

開催日時：令和4年7月15日（金）14：00～16：00

講座講師：高良 俊行 [一般社団法人那覇青色申告会 主任]

▽内容

- ・講師自己紹介
- ・確定申告とは
- ・白色申告と青色申告の違い
- ・準備する書類
- ・帳簿の付け方
- ・具体的な事例
- ・質疑応答

(5) セミナー総括

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を踏まえ、参加人数を限定し対面にて2回開催。それぞれのセミナーにおいて、具体的な事例を交えた講座内容で、受講者全員が興味深く受講に参加している様子だった。終了時間を過ぎても質問が多く寄せられ、時間を大幅にオーバーするなど盛り上がったことで、メリットを感じたとの声が寄せられた。

受講者のアンケート結果や受講後の声など結果をもとに、創業に役立つ情報や基本的な知識などを提供できるよう検討していきたい。

4. 就職相談

(1) 就職相談員

小松崎愛、築本圭司（サブ：田中 宏和、中村 成志、與世川 睦月）

(2) 利用者総数

総数：240名（男性：63名 女性：177名）

※資料添付：詳細内訳

(3) 相談件数

相談件数：10件（男性：4名 女性：6名）

(4) 就職決定者

決定者数：14名（男性：5名 女性：9名）

(5) 就職相談総括

就職相談の多数は公務員試験対策が占め、面接シートの添削や面接対策と継続して支援を行なった。それ以外の相談者については、コロナ禍の影響もあってオンライン面接のやり方やオンライン面接で使用するアプリの動作方法などの相談があった。セミナー終了後には就職活動の過程で不安になっていることなど講師と相談したり、また情報収集で来た人も就職の不安を少しだけ話されることは多い。短い時間ではあるが今後も相談者の状況把握に添えられるサポートを行っていきたい。

5. 就職セミナー

(1) 開催回数

合計：19回

※コロナ対策として4、5月は1回あたりの人数を半分にし、午前・午後の2回開催。

6月・7月は、午後のみ4名定員で開催。

(2) 申込・参加者数

申込総数：62名（男性：8名、女性：54名）

内参加者総数：53名（男性：8名、女性：45名）

(3) 講師

- ・小松崎愛（なはし創業・就職サポートセンター相談員）
- ・築本圭司（なはし創業・就職サポートセンター相談員）

(4) 開催セミナー

[4月]

- ・中高年の就活の心構え（21日）
- ・就活メイクのポイント（25日）
- ・超初心者向けパソコン基礎講座（26日）

[5月]

- ・簡単♪応募書類の書き方（10日）
- ・お仕事紹介～販売～（12日）
- ・就活メイクのポイント（18日）
- ・求人のココがポイント！（24日）
- ・超初心者向けパソコン基礎講座（26日）

[6月]

- ・就職活動のキホン（14日）
- ・履歴書の書き方（16日）
- ・面接対策（21日）
- ・求人の探し方（24日）

[7月]

- ・就職活動のキホン（12日）
- ・求人の探し方（14日）
- ・応募書類の書き方（20日）
- ・面接のキホン（22日）

（5）セミナー総括

新型コロナウイルス感染症の対策として定員を半数の4名に減らし、4、5月は午前・午後2回のミニセミナーを実施。6、7月は午後のみで開催となった。4~7月までのセンター利用者240名の内、セミナー利用は53名と全体の22%を占めている。

セミナーにおいて「就職活動のキホン」「面接のキホン」「超初心者向けパソコン基礎講座」セミナーは人気があり、定員に達する回もあった。新型コロナの影響で転職を余儀なくされ、久しぶりの就職活動をされる受講者から、就職活動のキホンや面接のキホンは改めて就職の流や面接のポイントを知ることができて有意義だったとのアンケート回答が寄せられたので、今後も随時開催していきたい。

開催時間は1時間で受講生も集中しやすく、再受講したいとの意見が多かった。申込みの経路として、広報誌と那覇市のホームページからの問合せと申込みが多く、次にハローワークでのチラシからの問合せとなっている。

長引くコロナの影響で就職活動に不安を感じる求職者が見受けられるので、状況に合わせた内容や前向きに就職活動につながるセミナーの開催が必要と感じた。

6. 事業全体総括と今後の課題

長引くコロナの影響で、創業相談に関しては、計画前の段階から事業開始まで通常よりも創業準備にある程度時間をかけ、かつ当初の計画を臨機応変に見直し対応していくことが、今後ますます必要であると考え。そのため、相談者の状況をしっかり把握した上で、相談者の状況にあわせた支援ができるよう、関連機関との連携しながら、継続的にサポートしていくことが重要であると考え。

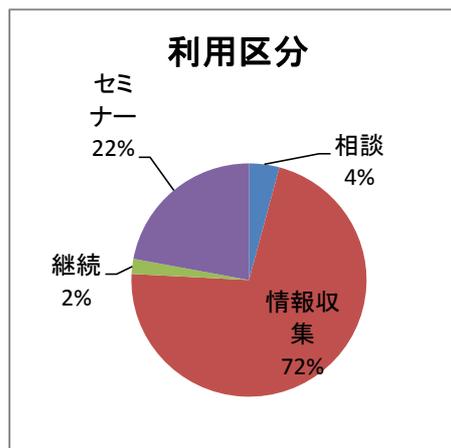
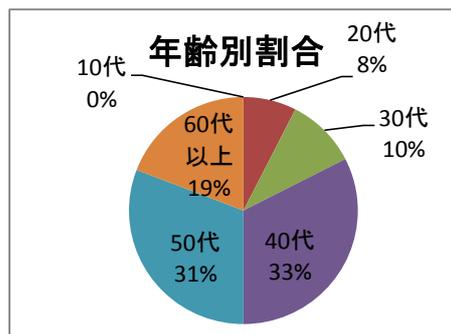
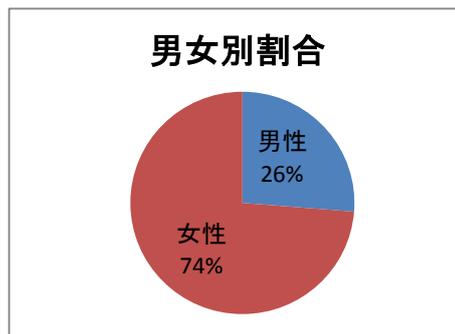
就職相談に関してはセミナー定員を半数、開催時間を午前、午後から午後のみするなど新型コロナウイルス感染症の状況に合わせてながらセミナーを行った。

就職先がなかなか決まっていけない方には、セミナーや就職相談の利用を促し、自己分析や、これからやりたい事等を見直す機会としていけるような支援が今後必要であると考え。

中高年層はオンライン面接の経験がなく、Zoomの操作方法やパソコン操作が苦手な人が多く、コロナ禍での創業・就職活動に苦労しているケースが多い。そのような方々のサポート面も含め、積極的な広報と課題に応じた支援を今後も続け、コロナ禍でも安心して窓口を利用出来るよう体制を整えていく必要があると考え。

令和4年度(4月～7月) 利用集計一覧

利用者内訳	分類	人数	割合
	男性	63 名	26%
	女性	177 名	74%
	10代	0 名	0%
	20代	18 名	8%
	30代	24 名	10%
	40代	78 名	33%
	50代	74 名	31%
	60代以上	46 名	19%
	求職中	222 名	93%
	学生	1 名	0%
	在職中	12 名	5%
	その他	2 名	1%
	本人以外	3 名	1%
	相談	10 名	4%
	情報収集	172 名	72%
	継続	5 名	2%
	セミナー	53 名	22%
	チャレンジ	0 名	0%
	パソコン	0 名	0%
特急講座	0 名	0%	
ミニセミナー	53 名	22%	
お仕事説明会	0 名	0%	
合計	240 名		
月平均	60 名		



開所日数	102 日
利用者平均	2 名

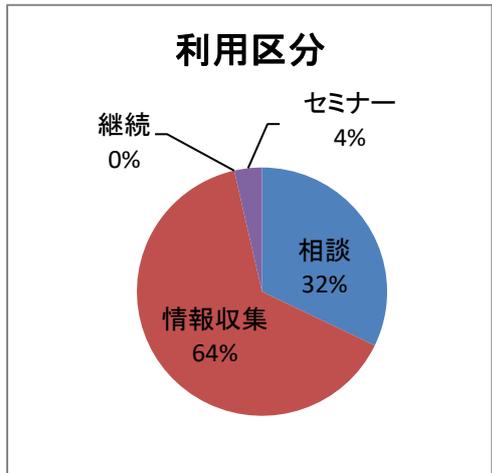
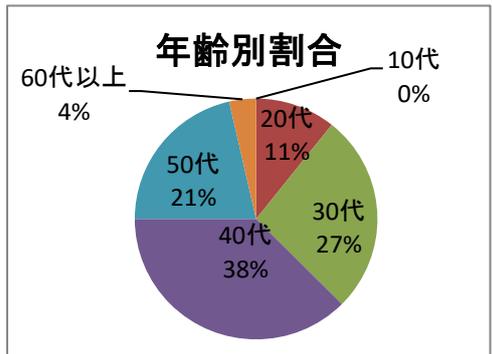
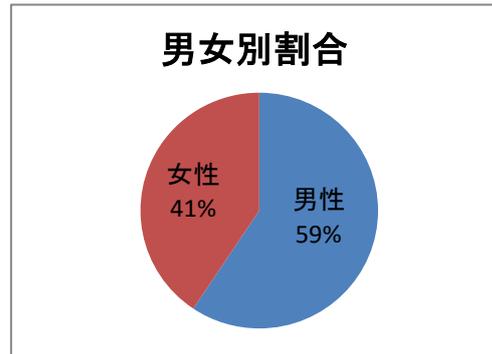
天気	日数	来所者総数	平均利用者数
晴れ	42	133	3
曇	15	41	3
雨	23	66	3

相談内訳

相談カード有	10 件
カウンター相談	0 件

令和4年度(4月～7月) 利用集計一覧

	分類	人数	割合
利用者内訳	男性	133 名	59%
	女性	91 名	41%
	10代	0 名	0%
	20代	24 名	11%
	30代	60 名	27%
	40代	84 名	38%
	50代	48 名	21%
	60代以上	8 名	4%
	求職中	0 名	0%
	学生	0 名	0%
	在職中	1 名	0%
	その他	221 名	99%
	本人以外	2 名	1%
	相談	72 名	32%
	情報収集	144 名	64%
継続	0 名	0%	
セミナー	8 名	4%	
セミナー内訳	SDGs	4 名	2%
	確定申告	4 名	2%
		0 名	0%
		0 名	0%
		0 名	0%
	合計	224 名	
	月平均	45 名	



開所日数	80 日
利用者平均	3 名

天気	日数	来所者総数	平均利用者数
晴れ	43	127	3
曇	14	35	3
雨	23	62	3

相談内訳		
相談カード有	72	件
カウンター相談	0	件

検印				

R4.4～7月創業支援実施報告書

利用状況	①相談	72件		②来所・電話・講座		55・89・8	
利用者総数 ①+②	男性	133名		女性	91名		合計 224名
②来所・電話・講座受講内訳							
年代比	男性	10代 0名	20代 13名	30代 23名	40代 27名	50代 21名	60代以上 3名
	女性	10代 0名	20代 4名	30代 16名	40代 27名	50代 16名	60代以上 2名
	計	10代 0名	20代 17名	30代 39名	40代 54名	50代 37名	60代以上 5名
①相談者内訳							
年代比	男性	10代 0名	20代 6名	30代 15名	40代 17名	50代 5名	60代以上 3名
	女性	10代 0名	20代 1名	30代 6名	40代 13名	50代 6名	60代以上 0名
	計	10代 0名	20代 7名	30代 21名	40代 30名	50代 11名	60代以上 3名
居住地	那覇市	60名		市外	12名		
相談内容内訳（※重複あり）							
創業前相談	60	情報収集	59	資金調達・融資関連	32		
販路開拓	18	事業計画書	27	人材育成	5		
資格・手続き等	7	創業後相談	4	その他	1		
証明書発行相談	11						
特定創業支援事業実績報告件数					14件		
年代比	男性	10代 0名	20代 1名	30代 2名	40代 3名	50代 1名	60代以上 1名
	女性	10代 0名	20代 0名	30代 3名	40代 2名	50代 1名	60代以上 0名
	計	10代 0名	20代 1名	30代 5名	40代 5名	50代 2名	60代以上 1名

証明書発行人数	11		証明書発行枚数	19				
年代比	男性	10代 0名	20代 1名	30代 2名	40代 2名	50代 1名	60代以上 1名	
	女性	10代 0名	20代 0名	30代 1名	40代 2名	50代 1名	60代以上 0名	
	計	10代 0名	20代 1名	30代 3名	40代 4名	50代 2名	60代以上 1名	
用途	登録免許税	3	創業関連保証	3	県創業支援資金	7	その他	6
追跡調査（電話・メール）		19		創業件数		0件		

実施場所	なは市民協働プラザBコア地下1階 なはし創業・就職サポートセンター内
相談員	田中 宏和
<p>4月～7月の利用者数は224名となり、月平均45名がセミナーや相談、情報収集としてセンターを利用している。利用者の男女別割合として男性133名（59%）、女性91名（41%）となっており男性の利用者が多い。その中で相談件数は72名となり月平均18件程度になった。年代別では、30代と40代の相談者が合計51名と全体の約7割以上を占めている。</p>	